

氏名 田 村 章

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 1068 号

学位授与の日付 昭和54年12月31日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第5条第2項該当)

学位論文題目 胃壁および小腸壁内リンパ管鑄型に関する走査電子顕微鏡的研究

論文審査委員 教授 寺本 滋 教授 大塚 長康 教授 大内 弘

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

消化管の壁内リンパ管微細分布を三次的に解明するために、ラット胃および家兎小腸に樹脂を注入し、壁内リンパ管鑄型を作成するという新しい方法を用いて走査電子顕微鏡で観察を行ない、同時に樹脂注入標本をエポキシに包埋して光学顕微鏡で観察、比較検討を加えた。

ラット胃の粘膜固有層では、上皮下、胃腺間および胃腺下リンパ管網において、それぞれ丸壁状、籠状および葉状の各構造を呈し、内皮による核の圧痕、小孔、くびれなどの毛細リンパ管鑄型特有の所見がみられた。

家兎の粘膜固有層では、1個の絨毛内に1-4条の中心乳び管がみられ、その起始部、中央部および基部において、それぞれドーム状、腫大、およびくびれの各構造を呈し、時に絨毛ポンプに相当する著明なくびれもみられた。又、小腸部位別による中心乳び腔の形態上の相違について分類を試み、比較検討を加えた。

ラット胃および家兎小腸の粘膜下層において、扁平、口径不同、数珠状ふくらみなどのリンパ管特有の鑄型所見がみられ、時に弁を示すV字型の切れこみがみられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は消化管の壁内リンパ管の微細構造に関する研究であるが、ラット胃および家兎小腸の壁内リンパ管鑄型を作製し、走査電子顕微鏡を用いて観察することにより、新知見を得たものであり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。